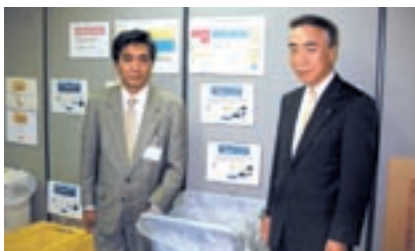


サービス

お客様のオフィスも
事業活動の場と考えて、
ごみゼロを推進しています。

リコーグループの日本国内におけるサービス会社「リコーテクノシステムズ」では、環境保全およびお客様満足度向上を推進するためのキーになる活動として「ごみゼロ」を推進しています。2001年度中に46拠点がごみゼロを達成し、2002年12月までには全233拠点で達成する予定です。サービス会社では、お客様が使用されている機器のメンテナンスが主な業務となるため、自社のオフィスだけでなく、保守などの作業を行うお客様のオフィスも事業活動の場と考え、交換した部品などをすべて持ち帰りリサイクルしています。作業に使わせていただいた場所を、訪問時よりもきれいにし帰ることにより、お客様のクリーンオフィスづくりにも貢献しています。また、日本以外の各極でも、さまざまな活動を展開しています。



リコーテクノシステムズ千葉支社のスタッフ

日本極

ごみゼロ活動

リコーテクノシステムズでは従来、交換した部品などは持ち帰って廃棄していました。交換部品をリコーのリサイクルルートで回収できる仕組みをつくったことにより、交換部品のごみゼロを達成しました。自社の排出物に関しても、ごみの排出量削減や分別を徹底するために社員啓発を行う

一方、独自にリサイクルルートを探しました。茶殻などの生活ごみは、リサイクラーを購入し自家処理を行っています。



分別コーナー

省エネ活動

省エネ活動は、社有車のガソリンとオフィスの電気を中心に取り組んでいます。車のガソリン使用量を削減するためにアイドリングストップ活動などを行っているほか、今後は、ガソリン車から電気自動車への変更を進めていきます。オフィスでは、昼間に点灯する場所を決めるなど、朝・昼・夜の「照明の標準」をつくりました。また、昼間はサービスマンがほとんど外出しているため、事務職社員のデスクをまとめるなど、省エネのためのオフィスのレイアウト変更も行いました。

紙の使用量削減

社内文書やプレゼンテーション資料を削減するために、パソコンやプロジェクターを積極的に活用しています。また、両面コピーの使用を推奨しています。千葉支社では、2001年度の紙の購入量は、前年度に比べ10%削減しました。

社員啓発とノウハウの水平展開

ごみの分別、オフィスの整理整頓、社有車内の整理整頓などに関する「標準」をつくと共に、その状態をデジカメで撮影し、データベース化しました。これにより社員全員が「あるべき姿」を確認できます。また、リサイクルデータベースやISOデータ

ベースを構築し、成功事例の紹介や意見交換などを行っています。



環境保全活動を通じて社有車内の整理整頓も実現

欧州極

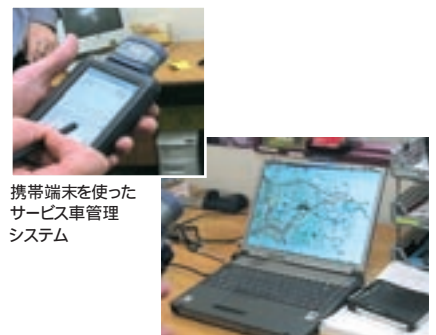
リコーフランス

フランスの販売・サービス会社であるリコーフランスでは、紙の使用量削減のために、両面コピーの推進や、紙の分別を徹底すると共に、「両面コピーは地球を救う」という社員の意識啓発のためのポスターも制作しました。また、サービス車と営業車の稼働の効率化と環境負荷の削減を図るために、どのようなルートでお客様を訪問するのが効率的かを、携帯端末を使ったシステムでチェックしています。

アジア・パシフィック極

リコーニュージーランド

ニュージーランドの販売・サービス会社であるリコーニュージーランドでは、サービス車の効率的稼働と環境負荷削減のために、携帯端末を使ったシステムでチェックしています。



携帯端末を使ったサービス車管理システム